京都市産業技術研究所
知恵産業融合センター
Center for Integrated Sensible Industry

ちえのわ

vol.5
2012.5 MAY
知恵産業融合センター NEWS

開催のご案内
キックオフイベント
定員100名
（先着順）

事業報告 1

平成 24 年度 知恵産業融合センター人材育成事業

知恵産業創出 リーダーシップ育成プログラム 記念講演会

この度，京都市産業技術研究所「知恵産業融合センター」では，京都市域内の伝統工芸や中小企業の活動に従事する中堅技術者•起業家等を対象に，新たな社会価値・文化価値を創出し，グローバルビジネスを展開できる人材の育成を目指した「知恵産業創出リーダーシップ育成プログラム」を実施します。

今回，本事業のキックオフ・イベントとして，本事業のスーパーバイザーによる記念講演及び交流会を開催致します。塾生以外に一般参加の方々も広く募集しておりますので，皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 平成24年 **5/28[月]** 午後２時 15 分～午後５時
（交流会／午後５時 30 分～午後７時）

場所 **京都リサーチパーク（KRP） １号館４階・サイエンスホール**
京都市下京区中堂寺南町 134　※交流会は同館内の VIP ルームにて開催します。

参加費／（いずれもキックオフセミナーの当日に徴収します。）
講演会参加費：1,000 円　交流会参加費：3,000 円　※講演会だけの参加も可能です。

問合せ先／京都市産業技術研究所（担当：知恵産業融合センター　早水，瀬野，今井）
TEL：075-326-6220　FAX：075-326-6221　E-mail　info@chie-yugo.com

参加者募集中！

平成 24 年５月２３日（水）までに，参加申込書に必要事項を記載のうえ，右記まで FAX 又は電子メールでお申込みください。参加申込書は，京都市産業技術研究所 知恵産業融合センターホームページからダウンロードできます。
URL http://chie-yugo.com

スーパーバイザーによる記念講演会

大武 健一郎氏

大塚ホールディングス
株式会社代表取締役副会長
（元国税庁長官）

「京都の技術と知恵を活かす時代」

京都の技術と知恵のグローバル展開についてお話いただきます。

1946 年生まれ。東京大学経済学部卒業。旧大蔵省に入省し同主税局税制第一課長，同総務課長，大阪国税局長等を経て，2004 年には国税庁長官に就任。日米租税条約改正の際に米国相手にタフネゴシエーターとして活躍。現在はビジネス•ブレークスルー大学大学院，関西大学，東京工業大学大学院で教壇に立つ。

大嶋 光昭氏

パナソニック
株式会社元理事
京都大学特命教授

「発想,発明に至る知恵創出の進め方と,その知恵の守り方 ～発明の事業化事例を通じて～」

発明並びに発明に至る発想法（知恵創出）を中心に，伝統工芸分野のグローバル展開の際に心がけておくべき意匠登録の重要性についてもお話いただきます。

1974 年，松下電器（株）入社。本社研究部門にて研究開発に従事。2005 年，本社Ｒ＆Ｄ部門技監。デジカメの手振れ補正技術ほか，３Ｄ-DVD 光ディスク・プレーヤーなどの発明者として世界的に有名。

高谷 知佳氏

京都大学大学院
法学研究科准教授

「京都の想像力 ―都市社会が築いた歴史と物語」

現代に伝わる京都伝統工芸の源と想定される室町時代の京がどんな社会であったかについてお話いただきます。

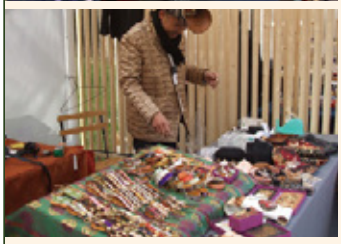
2003 年京都大学法学部卒。京都大学大学院法学研究科准教授。日本法制史がご専門で，「比較中世都市論への視点ー西欧・イスラム・日本ー」，「室町期の大織冠像破裂」，「室町王権と都市の怪異」などを研究する若手研究者。

事業報告 2

春祭り Le Jardin Japonais au Jardin d'Acclimatation

7 AVRIL au 8 MAI 2012

京都の魅力を発信！

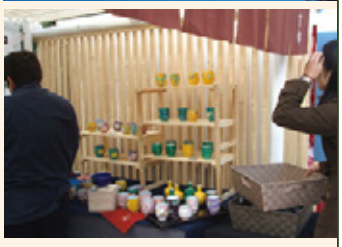


“Le Jardin Japonais　春祭り”
パリ市・アクリマタシオン公園における日本イベント

2012 年 4 月 7 日～ 5 月 8 日までの 1 ヶ月間，パリにて日本イベント『Le Jardin Japonais ー春祭りー』が開催されました。京都市からは，16 の企業様が出展され，西陣織，京友禅，京鹿の子絞，京焼・清水焼，金属工芸，京竹工芸など，京都の伝統工芸品の展示販売をはじめ，書道や着物の着付けパフォーマンス等を実施されました。今年は例年になく天候が不順で，寒さも厳しい中での開催となりましたが，会場は約 30 万人もの多くの家族連れで賑わいました。

ほとんどの出展品はフランスの方々が初めて目にする品なので，足を止めてもらうため，ディスプレイに工夫を凝らすなど，来場者と積極的に交流されていました。また，出展企業様からは『フランスの方々は一つ一つの商品のテーマやメッセージに興味を持たれ，説明も熱心に聞いて下さいました』，『フランスの方々は「欲しい」と思うものは価格を問わずご購入下さいました。』といった声が寄せられました。

今回の出展での新しい発見や出会いを，今後のものづくりや事業展開に活かして頂ければ幸いです。最後に，多くの関係各位に厚く御礼申し上げます。



ご挨拶

知恵産業融合センターは 2012 年 4 月より新体制に変わりました！ スタッフ一同がんばります！

センター長　木村 良晴

知恵産業融合センターは発足して 1 年半が経ちました。この間，少数のメンバーにもかかわらず，ともかくも京都の「新しい産業育成」というおぼろげではあるが極めて高い目標を掲げて走りまわっていただきました。もともと，このセンターは企業，産業活動に対する支援をする，云わば「黒子」役ですので，その活動成果を可視化するのは難しいと思っていますが，時代背景もあり，そうも言っていられないというのが本音です。

産業育成は個別企業の事業展開によって実現しますので，そこに「知恵」を入れるとすると，技術指導に加えて産業分野間・企業間の連携を官学が支援することが想定されます。このような知恵によって新市場がどれぐらい産まれて地域社会に貢献できるか，またセンターがそれにどの程度の役割を果たしたかが，センターの活動評価の指針となります。

最近の産業界では，技術開発より市場に近い商品開発に重きを置く傾向が強まっています。この商品開発はまさに「知恵」の集積であり，知恵の絞り方次第で売れるか，売れないかが決まります。ちょっとした知恵が大化けを演出することがよくありますので，その知恵を出すのを助けるという点でセンターの関与できる部分は充分あると思っています。特に，センターの母体となっている京都市産業技術研究所には，地場産業・伝統産業に関連した技術蓄積がありますので，それらに新しいアイデア，異種・先端技術を組み合わせることにより，付加価値の高い新しい商品を生み出していく可能性を秘めています。また，産産連携により思いもつかなかった市場が開拓されることもあるでしょう。

既に，個別企業との連携によりセンターが新商品を生み出す原動力となった例がいくつかあります。これらの成功例が多く集積されていけば，点から線へ，さらには面へとより組織的な取組みができるようになり，発展へとつながっていくでしょう。センターはそんな「知恵」のデザイナーになりたいと思っています。

過度の競争によって分断された今の社会を，もう一度コミュニケーションによる役割分担のできる連携社会に戻していく必要があると思われます。この過程にこそ，「知恵」の原点があります。この日本的な「知恵」の輪の中に，できるだけ多くの志のある方々に参画していただくようお願いしたいのです。

京都市産業技術研究所
知恵産業融合センター　ちえのわ
http://tc-kyoto.or.jp/　WEB サイトもご覧ください

2012MAY. vol.5（平成 24 年 5 月発行）発行／京都市産業技術研究所　知恵産業融合センター
〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町 91 番地　TEL : 075-326-6220　FAX : 075-326-6200
京都市印刷物　第 244125 号

京都市は歩くまち京都を推進しています。